



発行者 松尾 和幸
発行所 関東あまたか会
事務局 E-Mail akimatsuno@mac.com
☎090-3272-4383

新卒者は金の卵

関東あまたか会名誉会長 松尾和幸(高16)



山中麗子会
長が母上の介
護のために帰
郷中につき、
名誉会長の松
尾が会長代理を務めています。

今春卒業して関東に来た天高生は76回生。私は16回生。丁度60年。60年前には、関東に同窓会はありませんでした。

私が会長に就任したのが2001年。その年の役員会において、天高を卒業して関東へ来た大学生などを「金の卵」として大事に育てなければならぬ、まず歓迎会を開催しようとなり、2001年6月新卒者歓迎会を開催。第1回新卒者歓迎会は65回生でした。新卒者歓迎会に参加した在学生は、大学が別々なので会う機会もない、歓迎会のお陰で同期生に会えた。天草を出てから、この時初めて天草弁で喋れた。やはり天草弁はいいなど皆申していました。

新卒者歓迎会をやるなら、大学卒業祝もとなり、卒業祝も毎年2月に開催。大学4年間の成長振りにはは毎回目を見張ります。歓迎会以外に、10月に総会・友好の集いを、3月に観桜会を開催。これらの行事は、在学生は交通費込みの無料招待です。東京には、東京天草育英会があり、毎年6名程度の大学生に給付型奨学金を支給。その大半は当会会員からの寄附金。ご利用下さい。2012年からの新卒の入会者数は、合計114名、年平均9名の新卒者の入会。今年は3名。2019年以前は、図南会及び天高事務局から新卒者名簿の入手はできましたが、今年から個人情報保護法の遵守が一層厳しくなり、天草から入手することは極めて困難になります。天高生の皆さん、卒業されて関東へお出でになる時は、是非事務局へご一報ください。

母校の校長であること

天草高等学校校長 岩崎 毅(高38)



天草高校 関東図南会「関東あまたか会」の皆様におかれましては、

ご健勝のこととお喜び申し上げます。また、平素から本校の教育活動にご理解とご支援を賜り感謝申し上げます。

私は、この四月より天草高校校長を拝命しました岩崎毅と申します。着任後の近況報告を少しさせていただきますと存じます。

着任後まもなく、一年主任から新入生への講話の依頼がありました。天高OBの校長として、新入生に何を話すべきかを一晩思索し、私は、四つのことを話すことにしました。

一つめは、天高の沿革。二つ目は、三綱領「正大」「剛健」「寛厚」の意味。三つめは校歌。作曲が犬童球溪によること、七五調の優雅な調子であること、「飛翔を習ふ雛鵬」から「図南」の翼の話をし、四番の歌詞の深さまで。

そして、四つめは山並兼武先生について。私は、最後の山並先生について



体育館横に常備されている山並鎌 (モデルは、学校職員)

新入生に話をするにあたり、退職された上妻利博先生から頂戴した著書「一万日の男」山並兼武の紹介」の内容と先輩方から伺った逸話をもとに、山並先生がいかに優れた体育の指導者であり競技者であったか、天草高校開校以来定年を迎えられる日まで、雨の日も雪の日も、休みの日も、一日も欠かさず早朝出勤し、朝掃除を続けられたことなどを紹介するつもりでした。その上で、「山並精神」や「人前で輝く宝石よりも人知れず輝く星となれ」という本校に伝わる先生の言葉について触れようと考えていました。

いよいよ、山並先生の話をするというとき、私は、まず現在も体育館横に並べてある「山並鎌」を生徒たちの前に掲げ、「この鎌を見たことがある人はいいますか?」と問いました。正直「山並鎌」を知る生徒はもう少なからうという予断が私にはありました。しかし、予想に反し生徒たちの過半数が手を挙げたのです。そのときの感動は忘れられません。なぜなら、それは新入生たちの小・中学校で「山並鎌」が今も使用されているということに加え、天高で薫陶を受けた卒業生たちが、教師となり、校内美化を大切にしていることや「山並精神」が継承されていることの証だと思ったからです。

私は、その後、自分の知る山並先生の人柄や功績について話をし、その継承こそ天草高校が忘れてはならないことだと伝えました。

いま、私は、母校の校長としてあることの幸せを噛みしめながら過ごしています。それは、母校の校長であるが故の責任の大きさも感じる日々でもあります。

微力ではありますが、身を粉にして努める所存ですので、ご支援のほどよろしくお願いたします。拙い文章で汗顔の極みではありますが、近況のご報告をもって、着任のご挨拶とさせていただきます。

卒寿に寄せて

小島 庄太郎(高6)



故郷の熊本を出て半世紀余りになりますが、その大半を霊峰富士

を仰ぎ見ながらここ静岡の地で過ごして参りましたが、その間、先祖が眠る山鹿市の菩提寺には幾度か参りに行きましたが、多感な中高生時代を送った天草にはついで足を伸ばすことなく今日に至ってしまいました。

この度、同窓会報『関東あまたか』への寄稿ご依頼をいただき、久々に天高の卒業アルバムなど引つ張り出し回顧の念に浸つてますが、共に学び(コレほとんどなし)、ともに遊んだ(ほとんどコレ)学友の中には既に黄泉の客となつてしまった方もあり、年月の流れの速さを痛感しています。

私は35年間の民間企業勤めの後、折角学生時代に取得した教職免許なので一度は教壇に立つてみたいとの思いから、縁あつて県内島田市の私立高校で教鞭を執ることになりました。ほんの2、3年間の心算でしたが、その10倍の20年間の教師稼業になつてしまい、離任式で大きな花束を頂戴したのは喜寿の年でした。この20年に及ぶ若者との触れ合いで生徒諸君から吸収させて頂いたエ

エネルギーが今日を生きる私の生命の支えになつていゝものと感謝の念一入です。



今年の

3月米寿を迎えた私ですが、ここ数年やはり人並みに気力体力の衰退をヒシヒシと思ひ知らされ、現在規則正しい「百薬の長」の服用と、ヨタツキながらのグランドゴルフで、年齢相応の健康を維持すべくひたすら精進の日々を過ごしております。

終わりに、私と遠く離れた母校を繋ぐ「関東あまたか会」の弥栄と、同窓会諸兄・諸姉のご健勝をお祈りいたします。

米寿を迎えて

黄昏ときのマイゴルフ

鶴田 博(高8)



このところ好きなゴルフの回数が増つたり減つたり。

の会社仲間が集まり、今でも春秋2回のゴルフを楽しんでいる。なかには腰痛などの持病を抱える者もいて、幹事さん、人集めにも苦労されているようだ。

今の私には年5回のゴルフが一杯で、18ホールの完走も覚束ない有り様です。スコアの方も乱調続きで、悪い流れが止まらない。今もグロス90が、ごく日常的な目標値となつているが、これとて易くはない。成績不振の原因としてはですが、技量の問題はさて置き、加齢に伴う運動不足と筋力の衰えが大きいようだ。

私がゴルフを始めたのは30歳代半ばだったと記憶している。つい最近まで、スコアカードは我が家の宝物として大事に保管してあつたが、思い切つて処分した。往年のスコアカードと較べると全く違う世界が見えてきて、懐かしさも、結構楽しい。これも卒業となつた。

ゴルフの夢であるエイジニュートに触れてみたい。皆



様の中には、も、あるいは、これを成事に達成され、美酒に酔われた経験をお持ちの方が、おられるかも知れませんが、私にとつてもエイジニュートは大きな壁である。それでも可能性を信じて挑戦を続けて行きたいと思つている。皆様にとつて、ゴルフの夢とは何でしょうか。



傘寿を迎えて

振り返つての気持ち

松岡 敏治(高16)



もうすぐ長寿を祝う傘寿の歳に成るが、現実にはフレイルを強く意識

する年齢になつている。現在、小江戸と呼ばれる川越市に住んで居て、認知症予防の一環として催される生涯学習等に足を運び、ボケ防止に懸命である。生涯学習では、区切りに学習成果発表会を行つており、今回役立ったのは「関東あまたか会会報46号」の現役高校生の世界大会出場報告記事であつた。発表する時は「スライドをシンプルにすること」「研究目的や背景をしっかりと伝える」

「この研究で何を明らかにしたいのか」の項であつた。後輩有難うである。

あまたか会と十六夜会に参加する切っ掛けになつたのは、小学校から一緒だった故大堂志郎君が、JICAのプロジェクトリダーとしてドミニカに渡り、胡椒の栽培方法を指導中、1991年3月強盗に襲われ、殉死して帰つて来た後に執り行われた告別式に、多くの16回生が参列してくれた事が起点と言つても過言ではない。親友の死を悼む同級生の純心さに心を打たれ、再び郷土愛が蘇つた。同時に十六夜会会長の松尾和幸君があまたか会の会長になつたことで、学年幹事になり今日に至つている次第である。最後に趣味に關して一言。仕事の疲れを癒すため登山を続けて来たが、いつの間にか近隣の散歩になつてしまった。百名山の半分以上を一緒に登つた靴が、まだ玄関先に置いてある。多分もう足を入れる事は無いと思つと寂しい。今後は傘寿が人生100年時代の通過点であつたと思える生き方を目指したい。



ドミニカ共和国は、このようにとてもかなりリゾート地なのに、強盗に遭遇



喜寿を迎えて 私の引越し人生

佐藤 純 (高19)



私のスター

喜寿を迎え、天草時代を振り返ってみたい。

トは新和町小宮地。父の実家。ここで同居の叔父(父の次弟)に良く遊んで貰い、近くの流合川の諏訪橋の下の深みに投げ込まれ水泳を覚えました。叔父は天中、天高で二度退学、相当な問題児だったそうです。その後、単身ブラジルへ移住。「大金持ちになって呼んでやる」と豪語するも、数年後、外務省より死亡の連絡有り。遺品は拳銃一丁(勿論没収)、反政府組織で活動してたとの事。因みに祖母は本渡高女速成科(大3卒)、父は天中21(昭12卒)。その後母方の祖父の家(下浦)に引越。ここで二度の大怪我。囲炉裏端で栗の実が破裂、灰を被り失明の危険。次に海岸側の小島に架かる一本橋から落下。干潮の為下は力キ殻、ガラス破片等の捨場。全身血だらけ。運良く大事に至らなかった。

次は本渡(本泉)に引越。夏は広瀬川の水の平橋の下で毎日水遊び。当時の水着は黒の三角兵児(へこ)。夏の終わりには、日に焼け、茶色に変色、布もボロボロ。南小に入学す

おめでとうございませう
今後とも活躍ください



古希と趣味

山下 勝範 (高26)



る前、浄南に引越。近くのアカバナ海岸では、海水浴、釣り、貝掘り、ワタリガニ捕り。前の道路では乗合馬車の後に飛び乗り、御者に気付かれずどこまでいけるのか。又々引越。溝端です。最も楽しい期間を過ごしました。家の前の町山口川での、水泳、釣り、鰻捕り(筒)、螢の大群。染岳周辺では、山ぶどう、山栗、山もも、椎の実、野いちごを獲ったり、目を捕ったり。観岳園では、三角ベース、駒当て、べった、泥棒巡査等々、一日中遊び回ってました。その後も上川原、南町と引越。高卒後も熊本、東京、大阪、福岡、長崎、仏国、神奈川で計20回引越。合計で26回引越し。結構な引越人生でした。さて、次は?

時代のプロレスが大好きです。今回はファン歴で一番の思い出を紹介

します。大学生の夏に1ヶ月間のアメリカ一人旅をしました。プロレスの本場アメリカで「マディソン・スクエア・ガーデン(MSG)」などプロレス開催の有名会場の撮影と「試合観戦」が目的でした。昭和50年代は、インターネットが十分発達してなくて、プロレス雑誌にはアメリカの情報は少なく、遅れて掲載される時代でした。是非自分の目で本場のプロレスを確かめたかったのです。ニューヨークは昔からプロレス黄金地帯で、MSGでのメインイベント出場は一流のプロレスラーの証でした。ジャイアント馬場さんは、1964年には既にMSGでメインイベントに出場し、世界タイトルに挑戦したトップレスラーでした。これは力道山も成しえなかった快挙です。そのMSGを撮影し試合を観戦出来た事は、ファン冥利に尽きま



私には、古希になる現在でも昭和



オールスター選手権(1975年)のパンフレット(左)と、その時の入場券(右)

ニューヨークの景色を一望しました。その後は、セントルイス・シカゴ・アトランタ・マイアミ・ロサンゼルスなどプロレス有名会場を撮影しました。ロスではファンと日米の雑誌交換をしました。帰国後、プロレス雑誌発行のベースボール社を訪ね編集長にアメリカのプロレス旅を熱く語り写真を見せたところ、版權を譲って欲しいと言われネガを渡しました。暫くしてプロレス雑誌に写真が掲載され、その雑誌は今でも宝物です。

数年前に行ったジャイアント馬場展では、奥様とのラブレターや馬場さんが描いた油絵が展示されていました。馬場さんは、209cm・145kgの大きな体でドロップキック(飛び蹴り)が出来る一方、卓球も上手かったそうです。馬場さんは今でも私のスーパースターです。

新たな趣味ではマジックも始めました。これからも趣味を広げ、楽しく健康第一に過ごしたいと思えます。

天草の海の幸を各種ご贈答にどうぞ
贈答用活車えび生産販売
有限会社 KOFUKUDO
幸福堂
代表取締役 松中 祐二 (高27回生) 宮野河内出身
〒863-1212 熊本県天草市河浦町宮野河内234
TEL 0969-78-0186(代) FAX 0969-78-0193
E-mail : kofukudo@gaea.ocn.ne.jp
http://www.koufukudo.co.jp/

警備に関することは
なんでも相談せんね!
(株)機動警備
代表取締役社長 山下 純二 (天高19回生 姫戸出身)
電話 : 048-728-5530
FAX : 048-728-8085

あらたな旅立ちを見送る
もう一つの我が家
大佛堂
★天草市栄町 6-17
TAL : 0969-23-5969
FAX : 0969-24-2526
天寿殿・ありあけ天寿殿
食事・宿泊も可能な施設あります
★天草市本渡町広瀬 465-2
TEL : 0969-22-0002
★天草市有明町大島子 284-1
TEL : 0969-52-0080

私の天高時代

旧校舎時代 ～30回生以前～



天高時代のあれこれ



藤枝 純子
(高9)

序論：出身下浦。ここの同期女生徒私一人。**通学**：雨の日風の日いつも自転車。自転車小屋での登校時間、下島の友達もぞくぞく到着。「おはよう！」雨の日は皆ビショ濡れ。**授業**：解析は難しい。わかんない。女生徒3人で。国語も英語も理科も難しく、できると楽しい。**クラブ活動**：音楽部は岩崎直道先生。ポニー・ジャックスの玉

田元康さんの妹(ミコちゃん)のピアノで沢山歌う。長崎NHK合唱団、オペラの道に続く。**英語・音楽**：後の人生、両方に関係する進学、仕事に付くとは、誰ぞ知るや。**放課後の楽しみ**：友人と「天劇」に東映映画を観に行った。上京後、就職したのが東映だったとは！**恒例天高マラソン**：走るの苦手。苦しかったが完走した。いい思い出です。**売店**：休み時間に売店が人気。特に男生徒がお腹空かしコッペパンが売り切れ。**運動会**：3年クラス対抗仮装行列・・・タイトル「人間の一生」。出演男生徒、その他女生徒。私は洋装花嫁のメイク担当。とても美人に出来上がり好評。哺乳瓶持った乳母車の赤ちゃんも可愛い。**結論**：天草高校、恩師、友人達へ・・・素敵な青春時代をありがとうございました。

庭球



平石 水利
(高16)

天草町大江出身。当時、本渡まではバスにゆられて2時間余り。入試は芥洲館に前泊して挑みました。庭球部へ入り、中学時に都市大会で試合をした憧れの天高コートに立つことができました。千人塚の坂の往復ランニング等のきつい練習も今では懐かしい思い出です。2年時八代東から松村宗義君が転向し入部。八代東は県内のス

ポーツ強豪校。彼が左利きで打ち出すサーブは強烈で、ラケットに当てるのがやっとでした。アドバイスを沢山もらい充実した練習となりました。女子部員も多く練習は和やか。3年間頑張りましたが特筆する戦果はありませんでした。学生時代・社会人を通してスポーツをプレイして楽しむ事はなかったのですが、定年後に庭球に再挑戦しました。ラケットを軟式から硬式に握り換え、テニススクールで3ヶ月特訓。スムーズに身体とラケットが動いたのにはわれながら驚きました。天高庭球の経験値が甦った実感を得ました。庭球の仲間も増え、練習試合で左利きサーブを受ける時、高校時代の仲間の顔が脳裏をよぎります。今は80歳直前。こうして「庭球」を楽しめることに感謝しています。

私の通学路は、天草の歴史



園田 秋光
(高27)

天高卒業からおよそ50年、高校時代の思い出は？と聞かれても学業や部活の思い出がない。しいて思い出せば約3kmの徒歩通学の途中にあった寺のこと。箱の水の自宅からしばらく歩き、明德寺の急坂の石段(約70段)を駆け上り、キリシタン館の手前で右に曲がり墓地の脇から木山弾正の墓の近くの道を通り、別の墓地の間の小径を

駆け降りると天草高校の裏に出た。当時は気にしたことはなかったが、明德寺の歴史为天草の歴史そのものだという天草を離れ知った。司馬遼太郎「街道をゆく 島原・天草の諸島」に、天草・島原の乱(1638年)の後、キリシタン農民が全滅したとはいえ信仰が地下に潜っていつ可燃するかわからないという幕府の懸念を払拭するため鈴木代官が僧侶を島外から呼んで建立、石段にはところどころに「十」の十字架を刻み、自然に十字架を踏みつつ寺にたどりつくしかけをしている。山門には耶穌の邪宗を破るという意味の額(「山陽向」)を掲げ、キリシタン禁制時代の凄味がある寺とある。何も知らず通学路としていた。無知を恥じる思い出です。

信州 白樺湖 THE LAKE RESORT

天然温泉 湖天の湯
湖畔の風
RESORT FOOD HALL
LAKE RESORTの開放感を体感できる混浴エリア。
13の個室とコーナーが並ぶ FOODHALL 型ダイニング。高原の風を感じながら湖のほとりで思い思いの時間を。

池の平ホテル新本館 昨年春リニューアルオープン

平素より、天草高校 並びにあまたか会の皆様ご利用にありがとうございます。

代表取締役社長 矢島 義擴
元専務取締役 故矢島 静子

(高女29・下浦出身)

白樺リゾート 池の平ホテル

〒391-0392 茅野市白樺湖
白樺リゾート池の平ホテル&リゾート
総合予約センター

池の平ホテル 検索
TEL.0266-68-2100





野下 創史
(高66)

朝から晩まで

天高時代を振り返ってみると、ここには書ききれないほどたくさんの思い出があるが、ふと、当時は一日のうち、かなりの時間を天高で過ごしていたことに気がついた。それもそのはず、朝課外から始まり、1、2年生の頃は部活が終わるまで、引退してからは夕課外が終わるまでみっちり学校にいたのである。中でも印象深い思い出で、高校3年生の受験間近の時期に、先生のご厚意で友人数人と朝課外が始まるよりも30分～1時間前に登校させていただいたことがあった（さすがに朝早すぎて長続きはしなかったが…苦笑）。自然豊かな天草の地で朝から晩まで勉強と部活に打ち込み、3年間天高で濃密な時間を過ごすことができたのは、今の自分の根幹をなす貴重な経験だったと感じる。ちなみに、朝課外の文化は九州特有の文化だったらしく、先生と生徒の負担軽減の観点から2023年の4月から全面廃止になったらしい。今の天高の朝がどうなっているかは存じ上げないが、新しい環境で在校生や未来の生徒たちがどのような天高時代を送るのか、将来話を聞くのが今から楽しみに思う。

出で、高校3年生の受験間近の時期に、先生のご厚意で友人数人と朝課外が始まるよりも30分～1時間前に登校させていただいたことがあった（さすがに朝早すぎて長続きはしなかったが…苦笑）。自然豊かな天草の地で朝から晩まで勉強と部活に打ち込み、3年間天高で濃密な時間を過ごすことができたのは、今の自分の根幹をなす貴重な経験だったと感じる。ちなみに、朝課外の文化は九州特有の文化だったらしく、先生と生徒の負担軽減の観点から2023年の4月から全面廃止になったらしい。今の天高の朝がどうなっているかは存じ上げないが、新しい環境で在校生や未来の生徒たちがどのような天高時代を送るのか、将来話を聞くのが今から楽しみに思う。



私の天高時代

新校舎時代 ~31回生以降~



井添 智子
(高74)

あの時の情景

ついこの間大学に入学したばかりと思いきや、いつの間にか3年生になり就活する年になってしまった。東京での暮らしは学業、バイト、遊びと忙しく、とても色濃いもので、自分の“天高時代”は色褪せてしまったように思っていた。しかし、そんな記憶の中、唯一印象に残っているのが弓道場から見た景色だ。私は当時弓道部に所属

しており、夕方になると射場から見える空が山際からだんだん赤く染まり、美しい景色になっていった。寒い季節の中、床の冷たさが足に伝わり、凍えながらも私はその景色に見とれていた。そして日が完全に沈み、射場の灯りだけとなると、射場から放たれる矢が的に中り、「よしっ!」という部員達の声で真っ暗な中響きわたる。今思うと、そういった情景が天高で一番“青春”と感じる時だったのかもしれない。今現在、デザインを学びつつ将来への不安がある中、今回の寄稿の依頼を受けて、思い出の中の色、空気、香りといったものは、一瞬忘れていたとしても、どこか頭の片隅に蓄積されていくものだと感じた。それを忘れず、これからも様々な経験をして感性が研ぎ澄まされていけば良いと思う。



田中 大洋
(高73)

「伝説」を目の前にして

2018年4月、天草高校に入学した直後のテストで、私は学年1位でした。先生方にも「素晴らしい。東大進学とか考えてみない?」という声をかけていただき、優越感に浸ってのびのびと生活していました。そんな調子で迎えた7月模試。私は学年2位でした。浅はかでした。1位は中学時代からよく知ったM君。それ以降、M君は全ての模試で1位を取りました。私はずっと

と2番でした。そこには圧倒的な差がありました。M君は先生たちに東大進学を勧められていました。そう、まさに入学直後の自分の立場を奪われたようで、しかし、不思議と悔しくはありませんでした。むしろ、彼のようにになりたいという憧れから、私はさらに勉強に励みました。結局、彼は現役で東大に進学し、天高の伝説となりました。私は彼に追いつくことはできませんでした。しかし、彼を目指して勉強し続けたことで力がつき、私は慶應義塾大学に合格しました。彼がいなければ、私は慢心を抱えたまま、勉強の手を抜いていたことでしょう。今の私があるのは、M君と天草高校のおかげです。

新型コロナウイルス等の関係で天草へ帰郷を検討されている皆さん

めぐみ保育園

一緒に働きませんか?

問合せ 電話0969-23-7334(担当:金子)

〒863-0038 熊本県天草市南町6-9

5万㎡の広大なリゾート

ALEGRIA

ホテル アレグリアガーデンズ

〒863-0001 熊本県天草市本渡町広瀬996
TEL (0969) 22-3161

http://www.hotel-alegria.jp

傘寿の思いと 同窓会

谷山 弘行(高15)



凄い! 80歳になる。傘寿の祝いに浴することになった。日本人の平均寿命(男81歳、女87歳)の一步手前であるが、よくぞ生きて来たものと思っている。まずは、めでたい。今は後期高齢者、その後は晩期高齢者で、やがては末期高齢者となる。

自分が老いたと実感している。病歴もあり、両膝は人工関節である。高齢者として人並み以上に体は「破損」している。足元がおぼつかない。階段を下りる時は一歩ずつ決意して踏み出す。わずかな起伏に躓きかかない。万事ゆつくり、万事慎重である。愚図になってしまった。

その中で「生きているうち、動けるうち」は前向きな生活を見失わないようにしている。スマホでのLINEにも一応慣れたが、アプリの類は最小限に抑えている。知的能力の低下のせいか新しい用法を身につけるのが面倒くさい。

100歳以上の人口が2023年の時点で9万人を超えた(男10、550人、11%、女81、589人、89%)。私が高校卒業の昭和

38年時点では、わずか153人であった。単純に計算すると、60年間で602倍に増えたことになる。

私はとも100歳までは生きるとは思えないが、体調はそれほど悪くない。自分の身の回りことは何とか自分でやれる。記憶力が衰えたとは思えない。10月には運転免許証の更新をしようと思っている。転ばぬように杖を使っている。妻は「年寄りくさい」と言っているが、私は「もう立派な年寄りだ」と威張っている。

「生」あるものは必ず「死」を迎えるのが運命だと考えている。年齢を重ね「死」を受け入れる覚悟もしているが、もう少し長生きしたい。もっとも著名人の死亡記事では真つ先に年齢に目を走らせる。潜在的に気にしているのかも知れない。

過ぎ去っていく日々の中で、いろいろの方々との出会いがあり、別れがある。それを繰り返しながら、あつという間に時が過ぎ去ってしまう。人生、ひととき、ひとときを大切に生きていかなければと思う。「歳をとるのも悪くない」と言えるような、いい歳の取り方をしたいものだ。そして関東あまたか会の絆も大切にして「今を生きる」に邁進したいと思う。

令和6年4月22日「天高昭和38年卒業生傘寿同窓会」が天草サンタカミングホテルにて開催されました。各地から76名が参加しました。う



天草高等学校昭和38年3月卒業 傘寿同窓会 令和6年4月22日 於 アマックスサンタカミングホテル

ち関東あまたか会からは10名の参加でした。15回生として、379名(男子212名、女子167名)が61年前に卒業しました。(令和6年は男女194名卒業。)物故者が67名となっており、参加者全員による「黙祷」を捧げました。同窓会はこれまで昭和58年熊本会場を皮切りに、会場を変えて天草、熱海、天草、阿蘇、京都、天草、東京、熊本、天草、熊本空港ホテルと11回が開催され、ほぼ3年ごとでしたが、コロナ禍のため途絶えていました。今回は80歳に因んで「傘寿同窓会」と銘打って開催となりました。案内状によれば、この度の会をもつて一堂に会する同窓会に終符を打つこととです。ともかくにも盛況でした。午後4時の受付から午後9時の二次会終了まで賑わい、談笑が尽きることがありませんでし

た。誰しもが皆何十年も会っていなかったような懐かしさが込みあげてくる再会となり、何かホッとしたり笑顔、笑顔、握手、握手の再会となりました。

同窓会は皆が主役。盛り上がり感謝し、幸福感にも浸った次第です。校歌の斉唱もあり「正大」「剛健」「寛厚」の校訓を誇りに思いました。

古希同窓会

竹尾 孝幸(高25)



恩師牛島安一先生のご参加を得て、総勢91名が一堂に会しました。

最初に全員での記念撮影、生徒会副会長の片瀬美和子さんがギリギリで到着。会場を間違えたとのひと言に全員爆笑。本当に間に合って良かった。若山茂君から差し入れのあつた蜂蜜饅頭をいただきながら開会を待ちました。

準備が整い、総合同会は濱田幸人君と岡部優子さんが担当してくれました。凶南会副会長の太谷寛君による開会の言葉のあと、最初に物故者への黙祷。吉岡洋輔先生、池田美美子先生、関東あまたか会事務局を務められた古閑学君が紹介されました。

赤城陽一君から堂々の代表幹事挨拶があり、山川洋一君が乾杯の音頭をとってよいよ開宴です。高校



25回生古希同窓会

3年時の組別の12に分けられたテーブルでは懐かしい天草弁が飛び交っていました。余興コーナーでは、畑田もえさんのハーモニカ独奏、山崎浩君、養田誠也君、松下美穂さん、辻田睦子さんによるバンド演奏が披露され、コーラスには関東あまたか会のメンバーも飛び入りで参加しました。お待ちかねの抽選会では坂本安敏君、堀田福男君が大いに場を盛り上げてくれました。

続く校歌斉唱では、辻田睦子さんの指揮の下、「塵寰遠く隔てたる」で始まる久々の校歌を高らかに歌い上げました。万歳三唱では山崎浩君の次は喜寿まで、さらにその先まで頑張ろうとの掛け声に唱和し、最後は家族で見事帰郷を果たした有馬浩美さんが会を締め括ってくれました。約半世紀振りに再会をはたした同期生も多く、どちらかが思いだせなかつたり、思い出しても話の糸口がつかめないままで、せつなく会えたのに完全燃焼できなかったのが少し心残りでした。

ラグビーフランス 大会応援記

伊東(定) 伸子(高16)



「グリーンランドだ。」
突然眼下に広がる雪と氷の島。2023

年9月6日、RWC仏大会応援の旅

で今、機上にいる。シベリア上空を避けて北極圏回りとなる。到着したトゥールーズはピレネー山脈に接し、建物のレンガの色から「薔薇色の街」と呼ばれる。キッチン付きのアパルトメントホテルに入り、早速ハムや野菜などを買って、自炊も経験。クロワッサンが美味しい。中心のキャピトル広場辺りを何度か行き来するうち、街にも馴染んで、ちよつとした住民気分を味わう。街の一般人は親切だ。例えば行きたいレストランまで案内してくれた若い女性、切符の買い方を教えてくれた紳士、集合場所変更が解らず途方に迷われる声をかけてくれたご婦人など。一方、駅や大型スーパーの従業員はどうしてこんなと思うほど不親切であった。

大な歌声が響き渡る。日本の声は掻き消される。数の多さから南米が近いことを実感。先にトライを挙げられ、オフロードパスも良く通り、勝ち切るまでハラハラした。42対12の点差を感じない試合であった。試合後、チリは「W杯最初の対戦相手として我々の歴史の一部です。全力で戦って頂き有難う。」と日本チームに伝えた。正にノーサイド精神の体現だ。

ツアーは近郊のロートレック生誕の地や美術館を訪ね、今宵の宿は美しい村に高く聳える13世紀の古城。貴族気分浸った。その後帰国する仲間達と別れ、地中海沿岸を列車でニースへ。乗り換えの港町マルセイユで、「母を訪ねて…」のマルコを思う。映画祭のカンヌ、銀巴里の女王・瀨間千恵さんのシャンソンに歌われる「想い出のサントロペ」近くを通る。この旅での不安は、列車に大きな荷物を積み込む事。発車十分前まで番線が知らされず、駅員は不親切で指定車両を見つけないのも一苦労。駅の有料トイレでコインの持ち合わせがなく慌てた。駅まで二度予行練習をし、エレベーターの位置確認をしていたので無事乗り込むことが出来た。段差の高い入り口で荷物を引き揚げてくれたムッシュありがとう。やれやれ。ホット一息。TVGがニースに到着。ここではリゾート気分を味わいたいと、プライベートルビーチを持つホテルを予約。



早速「マダム」と声をかけられ、何かいい気分。まる

で美術館の中に居る様な宿で、ナポレオンのベッドや衣装などさりげなく置いてある。部屋のキーカードが薄い木製でエコへの配慮を感じた。ビーチパラソルの下でバカンス気分を味わう。太陽に輝く紺碧の海、嘗て本映で観た洋画のワンシーンだ。しかし、波は荒く石ころが痛く水は冷たく、泳ぐと言うより浸かるという感じであった。高浜の白砂が懐かしい。

いよいよイングランド戦。会場では仏の小学生が日本語で「ようこそようこそ。」と大声で迎えてくれ、練習を重ねたことを思うと胸が熱くなる。会場には「修猷館」にありの幟も旗めく。同校出身選手がいて同じ九州で嬉しいが「天草高校ここにあり。」と世界の舞台で掲げてみたかった。イングランドは三位になるだけあって強かった。朝食後、嬉しい出来事があった。2015年RWC英国



2023/09/10 22:10

大会日本代表山田章仁さん(小倉高校出身)に出会う。彼が大学一年の頃から日吉のラグビー場で応援してきた選手で、同窓生の夫はこの機会に思い切って話しかけ、彼のプレーの中の心に残る3つの場面を伝えた。「そういう事もありましたねえ。」と満面の笑みで答えてくれた。彼は今も九州のチームで現役最多トライ(103個)を更新し続けている。

15日間の旅も帰途に。往路北回り、復路南回りとロシアを迂回したウクライナ侵攻中の旅は何か複雑であった。平和が早く訪れることを願う。1年前からRWCのために準備をした夫のラグビー熱に動かされて出掛けたが、旅には出会いがあり、ハプニングがあり、毎日、毎日が新鮮で生きている実感があつた。そして一歩を踏み出せば開かれると前向きな自分にさせてくれた旅であった。これからも刻々と過ぎて行く時を味わい乍ら歩いていきたい。次はRWCオーストラリア・ニュージーランド大会だ。

今年度も天草高校出身の大学生6名に奨学金を給付することになりました。
天草高校OBの皆様や天草出身の皆様の御寄附により、奨学金の給付が可能となっています。
ご協力に感謝申し上げます。

皆様からの心のこもったご寄附金が若者の手助けとなっています。
ありがとうございます。

1,000円から 郵便局に備え付けの払込取扱票に、東京天草育英会の口座記号・口座番号(00100-4-362127)を、
何口でも結構です。そして加入者名の欄に「一般財団法人 東京天草育英会」とお書きください。

一般財団法人 東京天草育英会 理事長 園田峯生
☎03-6261-5598 URL <http://amakusa-ikueikai.com>
〒102-0093 東京都千代田区平河町2-5-7 ヒルクレスト平河町501号

天草から産まれた映画

柿久 昌範(高65)



映画は時に舞台となった土地に強く影響される場合がある。雄大な大地と厳しい気候を持つ北海道では、後悔や葛藤を抱えながらも一歩踏み締め生き抜く、高倉健さんのようなたくましい人間の姿が絵になる。湘南の海辺では、加山雄三など各時代のアイドル達の青春模様が頻繁に描かれ、一方でその近くの鎌倉ではノスタルジックな街並みも相まって、時に情緒的で時に神秘的な、初老の渡哲也と吉永小百合が20年越しの恋を叶える『時雨の記』のような、リアルよりもロマンが勝る作品が多数ある。

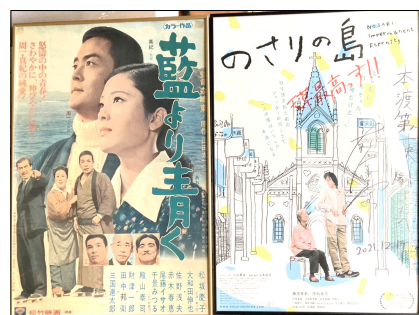
さて、天草はどうだろうか？例えば2021年公開の映画『のさりの島』。天草に流れていた詐欺師の男が銀天街で暮らす老女からお金を騙し取ろうとするも、なぜか孫として家に迎え入れられ、結局そのまま居着いてしまう。そして老女や町の若者たちとの交流、さらに天草ならではのゆったりとした時の流れや空気に触れるうち、男の心が変化してゆく……この映画のストーリーを

知った時、私はもう一つ別の映画を思い出した。

今から約80年前、天草の西海岸で撮影された映画『花咲く港』。戦後にラジオドラマ・映画として大ヒットした『君の名は』の原作者・菊田一夫による戯曲を、後に『二十四の瞳』『喜びも悲しみも幾歳月』など数々の名作を世に遺すことになる当時の新人・木下恵介が監督デビュー作として手掛けた。大まかなストーリーはこうだ。九州のある島に、その土地の名士の遺児を名乗る2人の男がやってきた。かつて島の産業だった造船業を復興させたいとの彼の言葉に賛同した住民たちは資金集めを始める。だが2人の男の正体は詐欺師で、資金が集まったら持ち逃げしようとしていた。ところがあまりにも善良な住民たちと日々を過ごすうちに男たちは心変わり。遂には島のために本気で造船業復興に奔走してしまふ……。この2

作品は設定や導入部分は似ているようだが天草ロケ以外の繋がりは全くない。でもやはり、どこか近い空気感を纏っている。

『のさりの島』の山本起也監督が以前、「天草という土地がこの映画を作らせた」という話をされていた。木下監督も同じ何かを感じて『花咲く港』の舞台に天草を選んだのだろうか。牛深が舞台の『藍より青く』はどうだろう。気っ風のいい漁師の若者と町の小学校校長の娘の恋と青



右は、2021年公開「のさりの島」
左は、1973年公開「藍より青く」

春、周囲の者たちによるドタバタ喜劇の要素も含めた人情物語。『のさりの島』『花咲く港』とはだいぶ毛色が違うようにも思えるが、意外とそうでもない。主人公と連む漁師仲間の若者たち、若者たちを見守る大人たち、そして何より、物語に度々映るエキストラ出演の住民たちの様子には、他の土地の映画のものとは一味違い、『花咲く港』の登場人物たちと似通った温もりとおおらかさを感じる。

ちなみに『藍より青く』の脚本家・山田太一の師匠は前述の木下恵介であり、師弟揃って天草を舞台にした作品を手掛けているのもまた面白い繋がりがある。『花咲く港』は太平洋戦争の真つ只中に製作され、『藍より青く』は1970年代前半に朝ドラとして人気を博し映画化までされた。そして『のさりの島』は、平成が間もなく終わり新たな時代を迎えようという2019年の始め頃に撮影された。それぞれに時代も違え

ば背景も異なる3作品。
しかし、天草には80年やそこらでは変わることもない、土地と暮らす人がもつと長い年月をかけて育んできた風土がある。これまで天草で映画を撮った映画人たちはきつとそこに惹かれたのだろう。
名作を生み出してきた天草が持つ風土。それは天草で高校時代という青春の日々を過ごした私たちの中にも存在している。

東京天草育英会の恩恵を受けて

山崎 美里(高70)



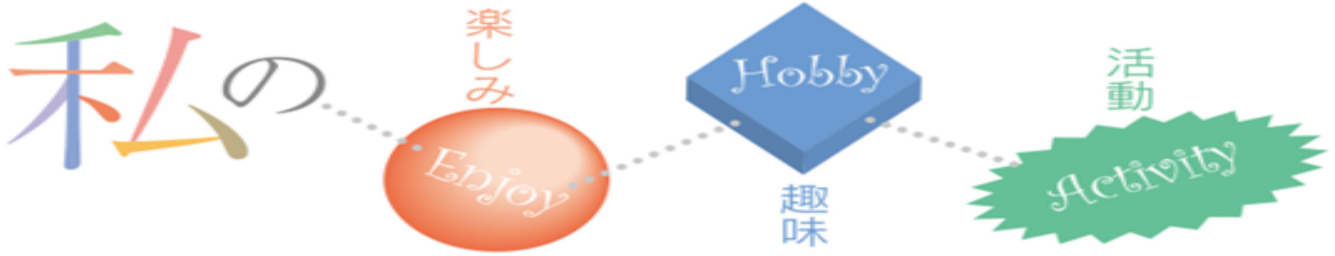
この春、新社会人となり、早くも2ヶ月が経とうとしております。

大学院までの6年間を過ごした早稲田大学の卒業式を迎えた日に、いよいよ社会人になるのだなあと実感した事が、すでに懐かしく思い返されます。

在学中は天草育英会の皆様にはお世話になり、大変感謝しております。世話になり、大変感謝しております。育英会のご支援があったからこそ、何物にも代え難い、貴重な6年間の学生生活を無事に終える事ができました。同時に、関東あまたか会の皆様にも温かく迎え入れていただき、

毎回の集まりは家族に会いに行くような気持ちで、楽しく過ごさせていただきました。心よりお礼申し上げます。
東京に進学した当初は、まさか将来、熊本に就職することになるとは思ってもおりませんでした。大好きな故郷に戻り、グローバルに挑戦できる場所があるならと、決断しました。大学院まで進学していただければ、ここには居ないだろうなと思うと、改めてこれまで支えて下さった方々への感謝が込み上げてまいります。今回もまた、運命的なタイミングと新たなご縁を感じながら、熊本で楽しく社会人としての一歩を歩み始めたところです。

全国各地から集まった256名の同期や、台湾から出向されている上司、同僚との出会いはとても刺激的で、勉強の日々です。これまで学んできた知識を生かして、エンジニアとして一日も早く会社は勿論のこと、社会に貢献出来るようになりたいと思っております。社内では主に英語でのコミュニケーションで、中国語もたくさん飛び交う中、国際化を肌で感じております。世界に通じるエンジニアになれるよう、精進して参ります。
皆様におかれましても、益々のご健康とご多幸を祈念しております。最後に、今後とも後輩たちが勉強に励み、目標達成のためのご支援をお願い申し上げます。



おやじたちの国際貢献

松尾 和幸 (高16)

私は、認定NPO法人「日本地雷処理を支援する会、JMAS (Japan Mine Action Service)」の顧問としてボランティア活動しています。

JMASが発足したのは2001年。陸将で定年退官したD氏の所へ、JICAカンボジアで勤務している元部下が来て「各国はカンボジア復興に来ているのに、日本は来ていない。カンボジアは、未だ地雷・不発弾事故が多く苦しんでいる。地雷・不発弾処理をやってほしい。現職時代は政府の命令がないと海外での活動は出来なかったが、OBならできでしょう」と提言され、D氏はカンボジアに現況視察に行き、現地の状況を見ると、地雷による事故は多いが、不発弾による事故も多い。2001年には、不発弾による事故が多く発生していた。地雷原処理を実施するには、地雷処理車が多数の処理要員が必要。組織もないお金もない自衛隊OBには無理。でも不発弾処理なら経験者も多く、少人数でできると判断。CMAC (カンボジア地雷対策センター、政府直轄の地雷処理機関)と協力協定を結び、2001年から1個不発弾処理チームを派遣し、パイロット事業を開始。2002年にNPO法人JMASを設立。カンボジア政府から国際NGOの認定を受けて、不発弾処理を開始。2004年に、3個州での不発弾処理に拡大。JMASの名前は地雷処理、なぜ地雷処理を実施しないのかと検討し、地雷処理車はなくても、人員による地雷処理ならできる。それもCMAC (カンボジア地雷対策センター)の隊員でなく、住民を雇用し、住民参加型地雷処理事業ならできると、2006年に開始。でも残念ながら2007年1月19日地雷処理現場において地雷爆発事故が発生、小隊長以下7名が即死。金属探知機による地雷探査は、1.5m幅奥行き40cmづつ探査・処理してゆく。1.5mの幅に皆が集まって相談した時に爆発。爆発壕の大きさから対戦車地雷9個が同時爆発。120mも飛ばされて即死した隊員もいた。住民からは住民参加型地雷処理を継続して欲しい。2008年、コマツの支援を得て、「安全安心な村造り」を目指して地雷処理車により、地雷原を安全化し、土地を開発し、道路・暗渠・井戸を建設するとともに、学校も建設。カンボジアで始まった「おやじたちの国際貢献」は、ラオス、アフガニスタン、パキスタン、パラオ、アンゴラ、ミクロネシアで事業を実施し、アフガニスタン、パキスタン、アンゴラは終了している。



金属探知機による地雷探査

天草の味「ツワ」を愛でる

松尾 弘美 (高15)

春先の水も温む頃になると、庭の植木鉢の木の芽も柔らかく芽生え、脇のツワの光沢有る大きな葉の下から柔らかな産毛を纏った若芽も現れ、大好きなツワの季節です(元は天草から届いた5、6株が娘宅と我が家の庭に年々増えて)。30センチ程に伸びると収穫し、水を張ったボールを準備し、皮剥きを。手にアクが付いて黒くなるのを防ぐ為に手をお酢で濡らします(コレで手は黒くならない)。茎を弓なりに曲げながら、皮が途中で切れないで一気に下迄剥けた時の気分の良さ。4、5センチに折り、ボールの水の中へ。サッと硬茹でし、アクを抜き、少量の油で炒めて味付けし、鷹の爪を入れキンピラ風に。次回はお揚げと一緒に煮たり、又山椒の葉の佃煮(これも手作り)を入れて煮たりと味変を。子供の頃野山でツワを取りに行き、母が作ってくれた味を思い出しながら、舌鼓を打ち、至福のひと時を(たかがツワでも・・・)。



我が家の庭で収穫したツワ



つわのきんぴら

ひと春に3、4度収穫する事が出来るが、来年の為に3度迄と決めている。夏になる頃、本葉となった肉厚で光沢の有る大きな葉っぱも好きですが、野山に花が少なくなる頃真っ黄色な花を咲かせ、やがて花が終わると綿毛となって飛び散り、春先に1センチ位の二葉のツワの芽が庭の一面にピッシリと芽が出ているのを見た時、それ迄は大きくなったツワしか見たことが無かったので感動でした。その中の数株のみが成長するのでしよう。他愛も無い私のツワ愛です。

あなたのパーソナルホテル

天草プラザホテル
〒863-0022 天草市栄町4-8
TEL 0969-23-5511 / FAX 0969-23-5588
まちのコミュニティホテル

プラザホテル アネックス
〒863-0032 天草市太田町16-1
TEL 0969-23-3000 / FAX 0969-23-1240

滞在型ホテル

プラザホテル ベルメゾン
〒863-0032 天草市太田町17-3
TEL 0969-23-3000 / FAX 0969-23-1240

サテライトホテル

プラザホテル キューブ
〒863-0032 天草市太田町16-14
TEL 0969-23-3000 / FAX 0969-23-1240

<https://www.amaxa.co.jp> plaza@amaxa.co.jp

Amakusa Santa Coming Hotel Bridal Plan

サンタスティックウェディング

ゲストと一緒に楽しむ結婚式を!

ゲストのお客様と一緒に楽しみ、おもてなしを第一に考えた結婚式です。是非ご相談ください。
→プラン内容など詳しくはホームページをご覧ください。

<http://red-happiness.com>

アマクサ サンタ コミング ホテル
〒863-0043 熊本県天草市亀場町亀川 74-3
TEL 0969-22-0100 FAX 0969-24-3472

子どもは地球の宝! 守り育てよう!

赤ちゃんから大人まで安心してご利用頂けます

医薬部外品 薬じゃないけど常備役

液体歯みがき 歯みがき剤

【プレミアムナチュラル プレミアムジェル】

株式会社 やくそうの島 天草社
熊本県天草市浄南町59-3 TEL(0969)24-3697



天草高校便り

体育大会を終えて

天草高校 3年 生徒会副会長 山西 陽南子 ひなこ



だんだん暑さが増す頃となりました、もうすぐ6月に入りますね。先日1学期の中間テストを乗り越え、入学式より新たに天草高校の一員となった1年生たちも、そろそろ学校生活に慣れてきているように感じます。

さて、天草高校は4月下旬に第79回目となる体育大会を終えました。当日は朝から小雨が降っておりグラウンドの状態も良くなく、開催を不安に思う声が多くありましたが、嬉しいことに午後からの空は晴れ晴れとしていて、無事に体育大会を開催できるようになり、生徒も私自身もとても安心しました。プログラム1番のマスゲームで、最初に伝統あるあまたか体操を天高生全員で披露しました。あまたか体操は何十年もの間受け継がれているらしく、先生方からその話を聞いたとき皆驚いていました。

また、閉会後色んな人からお褒めの言葉をいただき、「自分たちで体育大会を作り上げている、という雰囲気が出ていて良かった。」などと言っていただき、嬉しかったです。マスゲームの他に、各クラスの素晴らしいチームワ

クが見られたクラス対抗リレーや、白熱した竹取物語、息の揃った台風の目などが行われました。

私が最も印象に残っているのは応援団演舞で、人文字は特に心に残りました。なかなか皆の息が合わなかったり文字が綺麗に見えなかったりして練習時点ではとても不安だったのですが、本番では演舞中にも何度も拍手が起こるほど素晴らしい人文字を皆で作ることができました。この体育大会を開催するにあたって、より良いものにするために支えてくださった保護者の皆様や先生方、地域の方々にも改めてお礼を伝えたいと思います。心に残る体育大会にすることができて、本当に良かったです。



天草便り

あましんスタジアム(天草市陸上競技場)

西田 勝年(高12)

「あましんスタジアム」のオープンは前年の会報第45号に掲載されました。2023年7月の供用開始以降、市内外から競技者をはじめ、老若男女問わず、あらゆる世代の方が多数訪れ、活力溢れるスポーツ交流で賑わっています。こうした交流人口の増加により更なる地域の活性化が期待され、新しく変わりゆく天草を感じます。

以下、令和5年度に当スタジアムで開催された主要大会・イベントをご紹介します。

- ①九州地区大学体育大会陸上競技大会(7/15~16)
 - ・17大学、279名の選手が参加
 - 10個の大会新記録が樹立
- ②九州、県、郡市中学校駅伝競走大会
 - ・天草郡市(10/18)、県(11/10)、九州(12/2)
 - ・九州大会では地元本渡中学校男子が総合5位、2区間で区間賞
- ③第18回天草マラソン大会(1/28)
 - ・あましんスタジアムをスタート、ゴールとするフルマラソン、ハーフマラソン、3キロの種目に約1,200人が参加
- ④日本パラ陸上競技連盟によるユース強化合宿(8/16~20)
 - ・全国各地から12名が参加
- ⑤オリンピックとの陸上教室(11/19)

- ・山下潤選手(東京五輪代表・短距離)と山下航平選手(リオ五輪代表・三段跳)による陸上教室を実施
- ⑥オリンピックによるラグビー教室(9/9~10)
 - ・福岡県久留米市を活動拠点とする女子ラグビーチーム「ナナイロプリズム福岡」によるラグビー教室を実施
 - 約30名の小学生が参加
- ⑦青空フェンシング教室(2/4)
 - ・ANA(全日空)の社員アスリートで様々な国際大会への出場実績のある佐々木陽菜選手から約20名の小学生が指導を受けた

この他にも、三菱重工マラソン部や九電工陸上競技部、マツダ陸上競技部など全国有数の実業団や県下の陸上クラブによる強化合宿が実施されています。

あましんスタジアムの1キロ周回コースでは、市民の皆さんがジョギングやウォーキングを楽しんでおられます。

天草に来られた際は、天草の上島、下島の山々や有明海、素晴らしい景色が見られるこのコースを歩いてみてはいかがでしょうか。

(資料提供: 天草市スポーツコミッション)



九州地区大学体育大会陸上競技

天草市ふるさと応援寄附金

ふるさとへの想いを大切にしながら、全国でご活躍されている皆さま。是非、「ふるさと納税」という応援スタイルで、「ふるさと天草」を元気にするための、まちづくり・人づくりを応援してください。



お申込み・お問合せ先

特設サイト

天草市ふるさと納税サポート室
電話: 050-5444-6448(土日祝除く9時~18時)
メール: support@amakusa.furusato-ig.jp

特設サイトから直接寄附いただく、会員価格で寄附いただけます。



天草市の魅力的な返礼品をお届けします!

厳選したこだわりの逸品「定期便」



ご理解・ご支援・ご協力を賜り、誠にありがとうございます

令和6年度年会費を納入された会員の皆様(6月30日現在)

定時	藤田 和治	9	中元 令士	11	長濱 敏明	14	道田 正俊	16	園田 達彦	19	田中 廣子	20	宮本 東志美	22	江越 博昭	25	竹尾 孝幸
定時	大浦 サトエ	9	秋田 健二	11	山下 交	14	森田 紘司	16	伊東 伸子	19	小橋 園子	20	及川 立子	22	原田 眞一	25	田中 耕一
定時	大塚 博幸	9	岡田 松市	11	藤田 和雄	14	冨永 茂和	16	本多 謙二郎	19	植村 嗣久	21	馬場 信子	22	有馬 衛	25	松下 喜美子
天中	原田 芳矢	9	唐津 孝	12	佐藤 文憲	14	福島 利男	17	明瀬 建	19	荒木 統司	21	山中 麗子	23	岩野 都美子	26	山下 勝範
2	岩崎 清	9	石井 良空	12	高比良 慎	15	谷山 弘行	17	松本 貢二	19	坂川 武	21	佐々木 容子	23	濱崎 守	26	金子 清則
4	堀 青子	9	藤枝 純子	12	小林 唯助	15	松尾 弘美	17	角岡 セツ子	19	榎原 いそ子	21	岩下 好夫	23	田原 真記子	27	松野 明久
4	小溝 尚敏	9	渡辺 和則	12	山田 清	15	前田 非登美	17	緒方 茂夫	19	山田 貞子	21	益田 志郎	23	岡部 豊一	27	吉野 睦子
4	小森 友恵	9	山田 輝夫	12	前田 栄一	15	森崎 常雄	17	中河原 昭夫	19	山田 敏房	21	野島 雄二	23	榎原 俊一	28	江頭 眞喜子
6	光崎 親一	10	奈良崎 應彦	12	西田 勝年	15	山本 忠義	17	津田 祐一	19	宮崎 秀隆	21	川上 文明	23	佐藤 正明	28	前屋敷 重子
6	西 比紗子	10	久野 栄子	12	岩崎 定義	15	井上 義通	17	山口 泰教	19	大坪 里子	21	蔵田 博文	23	桑野 良二	29	榎原 保夫
6	小畑 幸保	10	小林 惟邦	12	三俣 香代子	15	森下 幸造	17	長濱 栄喜	19	佐藤 節代	21	田原 昭	23	倉田 和利	29	田中 優子
6	大和 賢造	10	本多 勝則	12	山並 義孝	15	原田 稔也	17	齋藤 佐智子	19	佐藤 純	21	土井 一美	23	若松 敏弘	29	木谷 祐一
6	小島 庄太郎	10	西川 軍一	12	川田 雅昭	15	土佐 幸子	17	松下 庄治	19	山下 純二	21	古山 隆樹	23	田中 光一	30	石島 剛
7	森本 雅生	10	木村 哲典	12	伊藤 美智子	15	澤田 健次郎	17	宮崎 弘通	19	山下 道子	21	猪原 加代子	24	木村 さよ子	31	沼田 章子
7	宮崎 正志	10	平田 俊清	12	丸田 泰郎	16	倉田 蕃造	17	金子 敬美	20	原田 淨	21	佐藤 義博	24	須賀原 眞弘	31	竹口 勝二
7	本多 敏朗	10	鳥羽瀬 建男	13	武田 縣	16	平石 水利	18	星野 悦子	20	大塚 賢次	21	尾上 充	25	吉村 いつみ	33	吉永 晋介
8	松浦 福雄	10	山口 桂子	13	石井 裕二	16	大塚 延子	18	平元 詢二	20	福田 いく子	21	菅澤 眞弓	25	帯部 力男	33	金子 みゆき
8	三澤 哲也	10	角田 啓爾	13	子原 敬子	16	松尾 和幸	18	津田 志保子	20	上 元範	21	大島 ひろみ	25	野口 金徳	34	玉田 峰樹
8	鶴田 博	10	濱中 イチヨ	14	原田 幸徳	16	松岡 敏治	18	赤尾 美恵子	20	安斉 きみ子	21	山下 正路	25	今村 恵子	35	舎川 恵子
8	江浦 末徳	10	伊藤 博通	14	松岡 秀枝	16	稲葉 由起子	18	齋藤 都	20	赤石 修一	21	巽 正喜	25	荒川 さなえ	46	山田 知子
9	梅本 進	11	大塚 徳満	14	大野 正光	16	小野寺 正和	18	眞野 あけみ	20	木原 巡一	22	須崎 律代	25	田川 信也		
9	三宅 康定	11	清原 桂典	14	原田 純吾	16	永野 和輝	18	千代延 博子	20	池田 照樹	22	奈良崎 孝佳	25	金子 尚弘		

令和6年度年会費に加えて、ご寄附を賜りました会員の皆様

定時	藤田 和治	11	清原 桂典	14	原田 幸徳	16	園田 達彦	17	宮崎 弘通	19	山下 純二	21	佐々木 容子	23	田原 真記子	25	金子 尚弘
天中	原田 芳矢	12	山田 清	14	道田 正俊	17	明瀬 建	18	星野 悦子	20	福田 いく子	21	田原 昭	23	桑野 良二	25	田中 耕一
6	小畑 幸保	12	西田 勝年	15	山本 忠義	17	松本 貢二	18	平元 詢二	20	上 元範	21	佐藤 義博	23	倉田 和利	27	松野 明久
9	中元 令士	12	岩崎 定義	16	松尾 和幸	17	角岡 セツ子	19	山田 貞子	20	安斉 きみ子	22	江越 博昭	24	須賀原 眞弘	29	田中 優子
9	藤枝 純子	12	三俣 香代子	16	松岡 敏治	17	中河原 昭夫	19	山田 敏房	20	池田 照樹	22	原田 眞一	25	吉村 いつみ	30	石島 剛
10	西川 軍一	13	武田 縣	16	平石 水利	17	山口 泰教	19	宮崎 秀隆	21	山中 麗子	22	須崎 律代	25	帯部 力男	35	舎川 恵子
10	鳥羽瀬 建男	13	石井 裕二	16	稲葉 由起子	17	長濱 栄喜	19	大坪 里子	21	馬場 信子	23	濱崎 守	25	野口 金徳		

今年度までに令和7年度年会費を納入された会員の皆様

9	梅本 進	10	奈良崎 應彦	22	須崎 律代												
---	------	----	--------	----	-------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

お名前の記載漏れや間違いがありましたら、お手数をお掛けしますが事務局までお知らせください。

当会の振替口座は下記のとおりです

- ゆうちょ銀行から振り込む場合
 - ・口座記号番号：00180-6-487424
 - ・口座名義：関東あまたか会
- 他の銀行から振り込む場合
 - ・銀行名：ゆうちょ銀行
 - ・口座名義：関東あまたか会
 - ・店名(店番)：〇一九(ゼロイチキュー)店(019)
 - ・預金種目：当座
 - ・口座番号：0487424

令和6年度年会費等の払込みのお願い

令和6年度年会費(2,000円)及び寄附金納入は、同封のゆうちょ銀行の払込取扱票をご使用ください。振込手数料は会で負担しますので、会員の皆様は無料です。払込取扱票には、お手数ですが住所・氏名を記載してください。なお、上記に氏名を記載されている方は、既に納入済ですので、払込取扱票は同封してありません。払込みは必要ありません。

クラブ赤石

赤石 洋子(本渡出身)



〒104-0061 東京都中央区銀座8-8-7
第3ソエアレ・ド銀座ビル5階

TEL: 03-3573-3994
携帯: 090-5325-9377

E-Mail: y_akaisi@f2.dion.ne.jp

(銀座8丁目中央通り 博品館並び5軒先)

2024(令和6)年度 関東あまたか会総会・友好の集いのご案内

関東あまたか会は、あんたん会ばい 友達ば連れて来んね

素敵な音楽のひととき 天草ん懐かし味も販売すつとよ

- 1 日時: 2024年10月26日(土) 12:00~15:00
- 2 場所: スクワール麹町 3階「錦華」 千代田区麹町6-6 ☎03-3234-8739
JR四ツ谷駅下車 麹町口の目の前 徒歩約1分(会場には駐車場はありません)
- 3 会費: 会員 6千円、ご夫婦 1万円、30歳未満会員 3千円、学生 無料
- 4 ご出欠のお返事は、同封の返信用葉書に、必要事項をご記入の上、9月30日(土)までにお知らせください。ご出欠の返信後に変更が生じましたら、10月22日(火)12時まで、下記の事務局長の松野明久までご連絡ください。

次第

- 受付 11:30~12:00
- 総会 12:00~12:45
- 記念写真 12:45~13:00
- 友好の集い 13:00~15:00
 - 自己紹介・近況報告
 - 長寿の祝い (還暦・古希・喜寿・傘寿・米寿・卒寿)
 - 素敵な音楽のひととき
 - フルーツ演奏
 - みんなで踊ろう (牛深ハイヤ節)
 - みんなで歌おう (ふるさと、校歌斉唱)



イラスト: 中京支部 吉田和美(高17)

天草物産品販売

あじみりん干し、手作り団子、塩あんもち、辛子れんこん、乾燥わかめ、あおさなどを販売予定です。ご希望の天草物産品がありましたら、返信用はがきにてお知らせください。

連絡先:
事務局長 松野 明久
〒160-0007
東京都新宿区荒木町10-30-501
☎ 090-3272-4383
E-Mail: akimatsuno@mac.com

ホームページについて

パソコンまたはスマホにて、Google等の検索機能で「関東あまたか会」と入力し、検索をクリックするとご覧になれます。また、スマホからは、右記の「QRコード」を読み取ってご覧下さい。



会報への投稿のお願い

会報は、皆様と情報を共有できる唯一の手段です。会報は、皆様のものです。皆様でいろんな寄稿文、写真、絵画などを投稿して、皆様が読みたいと思える会報に育てましょう。投稿先は、上記事務局長の松野明久宛にお願いします。

会報「関東あまたか」の編集に携わると、多くの先輩・後輩の人生にふれることになり、ひとつひとつの原稿を読みながら、みなさんがそれぞれ歩んでこられた道に思いがたります。当会の会員は1300人以上。天草という海が思い浮かびますが、有明海、不知火海、天草灘とまったく性質の異なる3つの海があり、それぞれに沿って暮らしが違います。海というより、むしろ山間の暮らしの記憶が多い方もいるでしょう。「同じ天草だから知っている」というわけでもないように、そうして記憶の中、天草についても書いていただきたい。お待ちしています。最後に、天草を遠く離れた日常の暮らしの中で、ふと天草を「発見」することもあります。そうしたやさやかなエピソードもお聞かせください。

編集後記 松野明久(高27)

謹んで哀悼の意を捧げます。

- 高18 金子 洋志 様 (令和6年6月)
- 高15 原田 直豊 様 (令和6年5月)
- 高11 橋本 光春 様 (令和6年6月)
- 高10 伊藤 博通 様 (令和6年6月)
- 高9 大塚 満 様 (令和5年12月)
- 高6 山下 公輔 様 (令和5年12月)
- 高5 梶原 千代子 様 (令和5年9月)
- 高2 中村 東悟 様 (令和5年9月)

訃報のお知らせ

この1年間に逝去された方をお知らせいたします。